

■まちづくりの進め方

◇ 対話による新たな価値の創造 —ともにまちを創る—

まちのさまざまな課題に対し、関係者が当事者意識をもって対話を重ね、共感を育み、協働して解決に当たることによって、より大きな力が生まれ、新たな価値が創造されることから、市民、地域、企業、団体が対話を重ね、まちづくりを進めていきます。

◇ 多様なつながりを創る

自分にない知識や技術、センスや個性、ネットワークなど、特有の能力を持った人とつながりを持ち、足りないところを補い課題の解決に努めます。

◇ 施策の戦略的推進

基本構想の主要手段に基づき「市政経営方針」で、戦略的に進める施策を具体化します。



■市民の暮らしを支える施策の体系

基本構想は、戦略目的とその目的を達成するために最も有効と考えられる基本的な手段を記載しています。

一方で、市政は総合的に推進されるべきことから、「豊岡市総合計画（計画期間：平成 19～29 年度）」の体系に基づき、引き続き市民の暮らしを支える以下の施策を積極的に推進します。

1 安全に安心して暮らせるまち

市民の安全を守り、安心しておだやかに暮らせるまちを創るとともに、保健、医療、福祉が連携する「安全に安心して暮らせるまちづくり」を進めます。

2 人と自然が共生するまち

豊かな環境を保存・再生・創造し、次代に引き継ぐため、広い視野と新たな発想により「人と自然が共生するまちづくり」を進めます。

3 持続可能な「力」を高めるまち

まちに活力と賑わいをもたらすため、定住環境、広域交流基盤、都市基盤の整備などを進め、若い力が発揮できる「持続可能な『力』を高めるまちづくり」を進めます。

4 未来を拓く人を育むまち

次代を担う子どもたちや地域を支える人たちが、ふるさとへの誇りと愛着を感じられる「未来を拓く人を育むまちづくり」を進めます。

5 人生を楽しみお互いを支え合うまち

日々の暮らしを楽しみ、お互いを思いやり支え合うことができる社会をつくるため「人生を楽しみお互いを支え合うまちづくり」を進めます。

策定 平成 29 年 9 月 発行 兵庫県豊岡市

〒668-8666 兵庫県豊岡市中央町 2 番 4 号
TEL 0796-23-1111 (代表) FAX 0796-24-5932
URL <http://www.city.toyooka.lg.jp>
E-mail info@city.toyooka.lg.jp



豊岡市基本構想 概要版



■基本構想の位置づけ

基本構想は、今後 12 年間で進める重点的な課題や取組みの方向を定めた指針であり、めざすまちの将来像を実現するために、必要な 6 つの手段と、その手段に有効な具体的な手段を示すものです。

また、基本構想で示す具体的手段について、今後 4 年間の取組方針及び事業を例示する市政経営方針を併せて策定し、4 年ごとに見直しを行います。

豊岡市基本構想 2018～2029 年度（12 年）

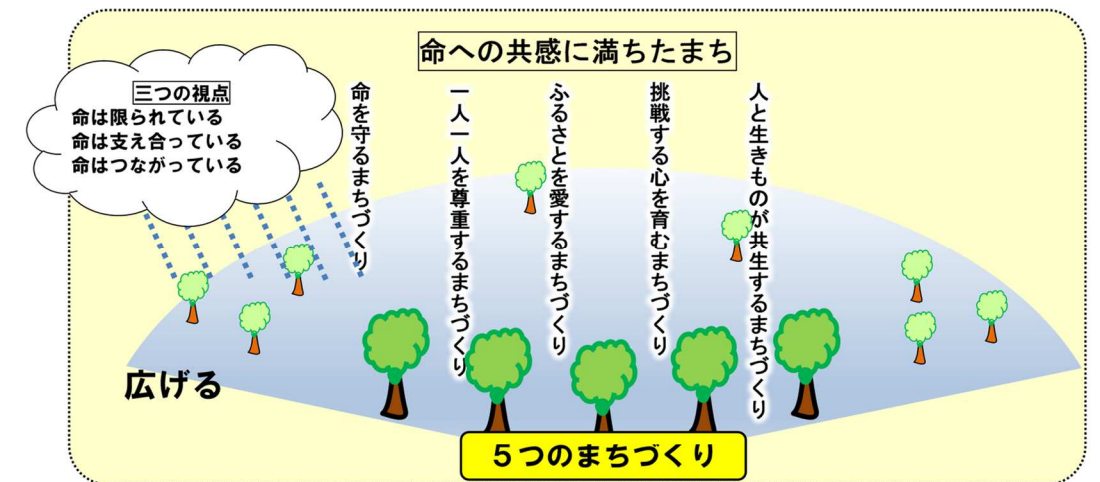
市政経営方針
（前期）
2018～2021 年度（4 年）

市政経営方針
（中期）
2022～2025 年度（4 年）

市政経営方針
（後期）
2026～2029 年度（4 年）

■まちづくりの長期目標 ～命への共感に満ちたまち～

豊岡市では、平成 24 年（2012 年）、「豊岡市いのちへの共感に満ちたまちづくり条例」を制定しました。この条例は、三つの視点に立って、まちづくりの基本的な柱や長期目標を定めたものです。



■基本構想の戦略目的 めざすまちの将来像

豊岡市がめざすまちの将来像は、「小さな世界都市 - ローカル アンド グローバル シティ -」とします。

「小さな世界都市」とは「人口規模は小さくても、ローカルであること、地域固有であることを通じて世界の人々から尊敬され、尊重されるまち」を意味します。

大都市にはない地域固有の魅力を磨き、世界で輝くことを通じて、「豊岡で暮らすことの価値」を再創造する取組みを進めていきたいと考えています。

基本構想の戦略目的—めざすまちの将来像—

ローカル アンド グローバル シティ
小さな世界都市 - Local & Global City -

小さな世界都市を実現するための主要手段

1 自然との共生が徹底されている

(1) 災害に備え、地域の防災力が高まっている

減災の考え方に立ち、自助、共助、公助により、まち全体の災害対応能力を高めていきます。

(2) 自然と折り合う暮らしがまちに根付いている

自然環境に適合したまちづくりとライフスタイルを確立する取り組みをさらに積極的に進めていきます。

(3) 環境と経済の共鳴が広がっている

環境経済戦略を強力に推進し、豊かな環境の保全と経済活性化の両立に挑戦していきます。



4 多様性を受け入れ、支え合うリベラルな気風がまちに満ちている

(1) 多様性がまちの原動力になっている

障がいの有無、性別、年齢差、国籍の違い、価値観・文化・習慣の違いなど、多様性を受け入れ、折り合いをつけながら共生するまちを教育、社会、経済、文化などの活動の中で築いていきます。

(2) さまざまなつながりの中に、それぞれの役割が果たされている

人々をつなぎ、居場所と出番を提供する仕組みや取り組みを進めます。

2 地域の歴史、伝統、文化が守られ、新しい工夫が加わり、引き継がれている

(1) 伝統的な町並みなどが大切にされ、活用されている

世界で輝く資源とチャンスは、私たちの足元にあり、世界に通用する質の高い「ローカル」を磨いていきます。

(2) 地域の資源が発掘され、つながり、連携が強まっている

個々の資源は、つながることにより新たな価値を生み出すことができます。市内にあるさまざまな資源を発掘し、組み合わせ、まちの魅力を世界へと発信していきます。

3 優れた文化芸術が創造され、人々が楽しんでいる

(1) 優れた文化芸術に身近に触れられる環境が整っている

市民の心の豊かさやまちの魅力を高めるため、アーティストを積極的に受け入れ、文化芸術を創造し、誰もが文化芸術に気軽に触れ合い、楽しむことができるまちを創り上げていきます。

(2) 文化芸術による交流が盛んになっている

文化芸術と観光の融合による交流人口の拡大を図りながら、大交流の実現を目指していきます。



5 内発型の地域産業がすくすくと育っている

(1) 地域産業が切磋琢磨し、新たな道を切り拓いている

市場や地域ビジネスに関する情報の提供、技術力の高度化支援、企業間ネットワークの構築支援など、地域産業活性化のための環境整備を進めます。特に、若者が失敗を恐れずに新たな事業に挑戦できる環境整備に努めます。

(2) 豊岡ブランドが構築されている

企業や業界などと行政との対話を通じて、さまざまな分野で豊岡ブランドの確立を進めます。

6 子どもたちが地域への愛着を育み、豊岡で世界と出会っている

(1) 子どもたちが豊岡のことをよく知っている

豊岡の自然、歴史、伝統、産業などを学ぶ「ふるさと教育」に取り組んでいきます。

(2) 子どもたちがさまざまなコミュニティの中で役割を果たしている

子どもたちがまちの中でさまざまな役割を持ち、責任を果たすことができる機会を提供していきます。

(3) 子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる

幼児期から英語に親しむことを通じて、英語を身につける機会をつくります。また、演劇を通じた「コミュニケーション教育」を進めます。

